

Seminar Series No. 2014-41 (2014年度第1回目)

“SAFETY SCIENCE”

主催：関西大学社会安全学部・社会安全研究科・社会安全研究センター
協賛：関西大学社会連携部

話題提供：各報告 40 分、各討論 20 分

・林 能成氏（社会安全学部）

「鉄道における津波避難誘導の課題」

・永松 伸吾氏，元吉 忠寛氏，金子 信也氏（社会安全学部）

「被災者による被災者支援の効果

—多賀城市の事例による実証研究」

日時： 2014年5月7日（水）14：40～16：50

場所： 高槻ミューズキャンパス（西館）7F M704

2014年度も、社会安全学セミナーを開催いたします。本年度の第1回目では、本学部の林能成准教授から、鉄道における津波避難誘導に関する課題を、永松伸吾准教授，元吉忠寛准教授，金子信也助教からは、被災者による被災者支援の効果に関する実証研究の成果についてご報告いただきます。

多数の皆さんの参加を期待しております。

7月までのセミナーの発表予定者と内容は以下のとおりです。

・5月21日（水）

桑名謹三「保険に減災効果はあるのか？」

小山倫史「ゲリラ豪雨と斜面崩壊 —ゲリラ豪雨で斜面は壊れるのか？」

・6月4日（水）山崎栄一（法と防災教育），高野一彦（法とプライバシー）

・6月18日（水）近藤誠司（災害ジャーナリズム），秋山まゆみ（消費者安全行政）

・7月2日（水）河田恵昭（災害被害の定量化），川口寿裕（避難シミュレーション）

・7月16日（水）小澤守・安部誠治（パロマの事故と教訓），永田尚三（消防行政）

担当：河野和宏（社会安全学部） Tel: 072-684-4163 k-kono@kansai-u.ac.jp